

平成30年度
教育委員会事務事業点検及び評価報告書
(平成29年度事業分)

津奈木町教育委員会

1 実施方法

(1) 制度の趣旨

本町の教育は、年間を通して学校教育も生涯学習も数多くの教育実践を行い、幼児から高齢者までの「生きる力」を培ってきています。すべての教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

本町では、「環境を生かして子どもから高齢者まで生きる力を身につける」を教育の目標の柱として数年に渡り実践して参りました。教育施設整備については、継続して取り組み、教育環境は格段に向上しました。学習面では学習指導要領に沿って子どもたちが勉強しやすい環境づくりに力をいれました。

また、コミュニティ・スクールの導入により、地域の方々が学校運営や子ども達の安全面にも配慮を頂くなど、学校と地域が一体となって津奈木町の将来を担う子ども達の健全な育成に力を注いでもらっています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

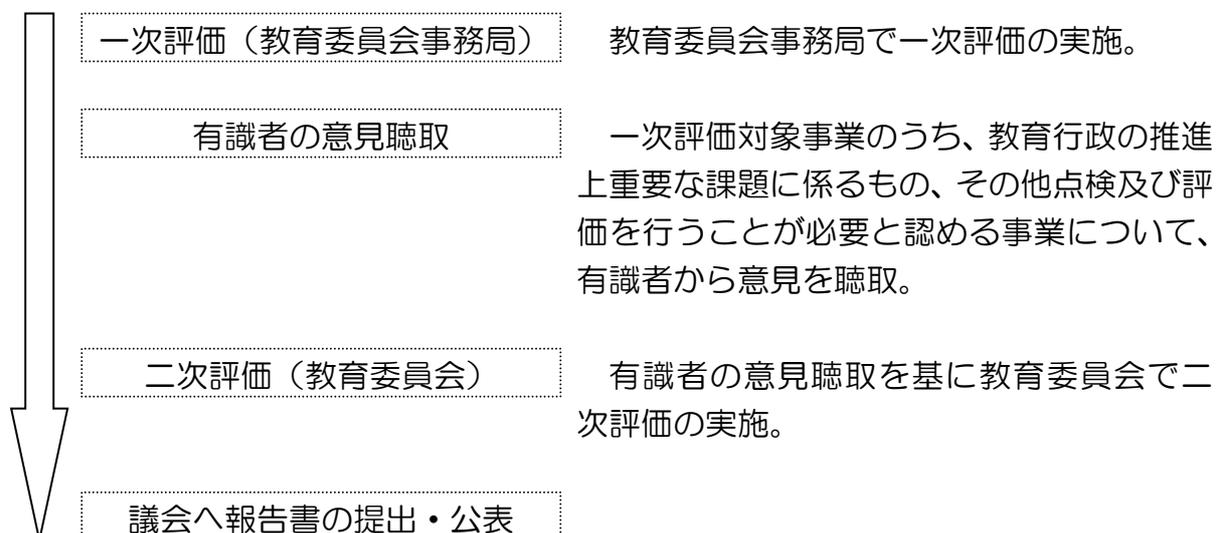
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象

点検及び評価の対象は、実施年度の前年度の「津奈木町教育構想」に基づく教育委員会事務局が実施する事務事業について行います。

(3) 実施の流れ



二次評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を議会へ提出し、住民へ公表。

(4) 点検・評価に関する有識者の活用

点検及び評価に客観性を持たせるため、教育に関して学識経験を有する方に、平成30年8月2日、つなぎ文化センター相談室において意見をいただきました。

有識者名簿

氏名	所属等	任期
日野昇	元役場職員	平成30年～平成32年

(5) 点検・評価に関する規則

津奈木町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施に関する規則

平成20年教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)第26条の規定に基づき、津奈木町教育委員会(以下「教育委員会」という。)が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象とする事業(以下「対象事業」という。)は、「津奈木町教育構想」に基づく事務事業とする。

2 対象事業は点検及び評価する年度の前年度の事業とする。

(実施の方法)

第3条 点検及び評価は、毎年1回実施し、対象事業の取組の状況並びに成果及び課題を整理して、今後の取り組みの方向性を明らかにするものとする。

2 教育委員会事務局は対象事業に係る「点検及び評価結果票」を作成し、第一次評価を行う。

3 一次評価の対象事業のうち、教育行政の推進上重要な課題に係るもの、その他点検及び評価を行うことが必要と認める事業について、第4条に定める学識経験者の意見等を聴取したうえで、教育委員会が第二次評価を行う。

(学識経験者の活用)

第4条 法第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者1名を委嘱する。

2 点検・評価に関する有識者の任期は、3年とする。

(議会への報告等)

第5条 教育委員会において、第二次評価を行った後、「点検及び評価結果報告書」を

津奈木町議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育委員会事務局において行う。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成20年12月1日から施行する。

附 則(平成21年6月25日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行し、平成20年度事業から適用する。

附 則(平成28年8月26日教委規則第1号)

この規則は、公布の日から施行し、平成27年度事業から適用する。

2 点検・評価結果

津奈木町教育構想に基づく事務事業について一次評価を行い、一次評価事業のうち、教育行政の推進上重要な課題に係るものその他点検及び評価を行うことが必要と認める事業について、有識者の意見を聴取し、二次評価を行いました。

【評価区分】

A：成果があり一層の向上を目指す。 C：見直しの必要がある。

B：一応の成果があり更に改善を図る。 D：事業の継続中止

点検及び評価対象事業一覧

評価 番号	一次 評価	二次 評価	事 業 名	担 当 班	等
1	A	A	学校訪問指導事業	学校教育班	
2	B	B	学力充実事業（小学校・中学校）	学校教育班	
3	B	B	学力テスト事業（小学校・中学校）	学校教育班	
4	B	B	知能検査事業（小学校・中学校）	学校教育班	
5	B	B	義務教育教材備品購入事業（小学校・中学校）	学校教育班	
6	A	A	英語教育推進事業	学校教育班	
7	A	A	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の取組	学校教育班	
8	B	B	要保護・準要保護支援事業（小学校・中学校）	学校教育班	
9	B	B	特別支援教育就学奨励事業（小学校・中学校）	学校教育班	
10	A	A	学級支援員事業（小学校・中学校）	学校教育班	
11	B	B	学校図書購入事業（小学校・中学校）	学校教育班	
12	B	B	道徳推進事業（小学校・中学校）	学校教育班	
13	A	A	心の教室相談員事業（中学校）	学校教育班	

評価 番号	一次 評価	二次 評価	事業名	担当班	給 分
14	B	B	不登校・いじめ等の指導支援	学校教育班	
15	B	B	学校版環境ISOの推進（小学校・中学校）	学校教育班	
16	A	A	就学時健康診断事業（幼稚園・小学校）	学校教育班	
17	A	A	学校医の指定（小学校・中学校）	学校教育班	
18	A	A	学校施設整備事業（小学校・中学校・幼稚園）	学校教育班	
19	A	A	健康管理事業（小学校・中学校）	学校教育班	
20	B	B	子ども見守り支援事業	学校教育班	
21	B	B	幼・保、小、中連携事業	学校教育班	
22	A	A	英語検定補助事業	学校教育班	
23	B	B	町民講座	生涯学習班	
24	B	B	あけぼの大学	生涯学習班	
25	B	B	自治公民館の支援	生涯学習班	
26	B	B	生涯学習フェスティバル	生涯学習班	
27	B	B	文化センター改修事業	生涯学習班	
28	B	B	文化センター運営事業	生涯学習班	
29	B	B	文化センター自主事業	生涯学習班	
30	B	B	人権教育推進事業	生涯学習班	
31	B	B	図書館運営事業	生涯学習班	
32	B	B	おはなし会（読み聞かせ）	生涯学習班	
33	B	B	童話発表会	生涯学習班	
34	B	B	子ども読書の日	生涯学習班	
35	B	B	食育推進事業	生涯学習班	
36	B	B	「親の学び」プログラム事業	生涯学習班	
37	B	B	親子凧揚げ大会	生涯学習班	
38	B	B	婦人会の育成・支援	生涯学習班	
39	B	B	県文化協会連携	生涯学習班	
40	B	B	町文化協会の育成・支援	生涯学習班	
41	B	B	P T A連絡協議会の育成・支援	生涯学習班	
42	B	B	地域未来塾	生涯学習班	
43	B	B	有形文化財の保護・活用	生涯学習班	
44	B	B	スポーツ教室事業	生涯学習班	
45	B	B	遊びの学校・B&G海洋クラブ事業	生涯学習班	

評価 番号	一次 評価	二次 評価	事 業 名	担 当 班	分
46	B	B	町民体育祭	生涯学習班	
47	B	B	町体育協会の育成・支援	生涯学習班	
48	B	B	郡体育協会連携	生涯学習班	
49	B	B	社会体育指導者の育成	生涯学習班	
50	B	B	学校体育施設の開放	生涯学習班	
51	B	B	体育施設運営事業	生涯学習班	
52	B	B	B&G施設運営事業	生涯学習班	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	1		
事業名	学校訪問指導事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	学校教育総括		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	各小・中学校、幼稚園における教育活動の現状を把握するとともに、その実態に即した改善策を研究し学校教育の向上発展に寄与する。	
	事業内容	学校教育目標具現化の具体的実践状況の把握とその指導、指導方法の改善（授業づくり、集団づくり・生徒指導）、学校の管理・運営上の問題点の解明とその指導	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	10千円 (10千円)	10千円 (10千円)	10千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 9月7日津奈木小学校、10月11日津奈木中学校、11月14日津奈木幼稚園で実施した。 【成果等】 各小・中学校、及び幼稚園は、今回の訪問で協議したことや指導助言にしたがい今後の対策等の要点をまとめた「学校訪問の指導と対策」を作成、その後の教育活動の改善を図った。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	平成30年度は、9月10日津奈木小学校、10月17日津奈木幼稚園、11月6日津奈木中学校で計画している。		
学識経験者意見等	県の学校総合訪問時の指摘事項等についても、その後指導を受けながら適切に対応してもらっている。町が実施する経営訪問と併せて教育活動の改善、発展のため継続して実施して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	2		
事業名	学力充実事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	確かな学力の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	熊本型授業の展開、観点別評価の充実、指導体制の工夫を目的とする。各小・中学校の学力を向上させるための教材購入等を行い、児童・生徒の学力の充実を図る。	
	事業内容	この事業は、児童生徒の学力を充実させるため、教材費購入等として児童生徒1名あたり、1,000円の予算を計上している。また、津奈木小学校の食育推進事業の教材購入も併せて計上している。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	509千円 (535千円)	330千円 (311千円)	318千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 津奈木小学校及び津奈木中学校が、学力向上の指定校を受けて研究活動をしてきた経験を生かし、学力向上の充実に向けて取組を行っている。		
	【成果等】 学力向上のために教材等を購入し児童・生徒の学力を充実することができた。また、県学力テスト、全国学力・学習状況調査では、小学校は学年での学力定着のバラツキと教科の項目で課題が見られ、もう一步である。中学校は、一部課題があるもののある程度の学力の定着が見られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
文科省の指定は終了したが、教育委員会では、学力向上に対して町指定の学力向上研究指定をし、学校あげて継続し取り組む体制を維持できるよう、教職員が自らの力量を高めるための研修を推奨するとともに、幼保小中連携により校種間の課題を共通理解できる場の提供などを図った。また、平成23年度から夏季休業中に全教師による学力向上研修会を実施している。さらには、平成28年度から小学校は文科省の教育課程特例校となり、教科英語の導入などを踏まえて平成27年8月からALT（外国語指導助手）を2名体制とし、英語教育に力を入れている。			
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	3		
事業名	学力テスト事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	確かな学力の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	熊本型授業の展開、観点別評価の充実、指導体制の工夫を目的とする。成績評価業務を行うことで、学校の教育効果向上に資し、学力を向上させる。	
	事業内容	小学校は、1・2年生が国語と算数、3年生以上が国語・社会・算数・理科の学力検査を実施し、中学校は、1年生が国語・社会・数学・理科、2年生以上が国語・社会・数学・理科・英語の学力検査、全学年の心理状況調査を実施。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	549千円 (543千円)	541千円 (521千円)	537千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 学力検査等を実施し、成績評価を行い教育的指導の向上を行っている。 【成果等】 成績評価を基に全国標準との比較を行ったり、各教科の学力の状況を把握することで、教師の児童・生徒に対する各教科の指導等が充実でき、学力向上ができた。 小学校は各学年それぞれの教科で課題が見られた。中学校は全学年で学力の向上が見られている。この実態は、県学力テスト及び全国学力・学習状況調査の結果にも反映している。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	各小・中学校の全児童・生徒の標準学力検査を実施することで、児童・生徒の現在の学力を知ることができた。教師の指導方法の改善や効率化を図り、学力向上を目指すために継続していく。		
学識経験者意見等	学力検査の結果を活用し、子ども達がまだ十分に理解していない部分について、指導方法の改善等に役立てて欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	4		
事業名	知能検査事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	確かな学力の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	熊本型授業の展開、観点別評価の充実、指導体制の工夫を目的とする。成績評価業務を行うことで、学校の教育効果向上に資し、学力を向上させる。	
	事業内容	各小・中学校の全児童・生徒を対象として、知能検査（成績評価）を実施。	
予算額 （決算額）	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	108千円 (105千円)	100千円 (97千円)	101千円
一次評価 <small>（教育委員会事務局）</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 知能検査等を実施し、成績評価を行い教育的指導の向上を行っている。 【成果等】 成績評価を基に全国標準との比較等を行うことで、教師の児童・生徒に対する各教科の指導等が充実でき学力向上ができた。児童生徒の学力成就の度合いを知ること、教科指導の方法改善に役立っている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	各小・中学校の全児童・生徒の標準知能検査を実施することで、児童・生徒の現在の学力を知ることができ、教師の指導方法の改善や効率化を図ることが出来た。学力向上を目指すために継続していく。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>（教育委員会）</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	5		
事業名	義務教育教材備品購入事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	確かな学力の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	学習指導要領に基づいた教材備品の整備に加え、老朽化した備品等の更新を行うことにより、教育環境整備を行い、学力向上を図る。	
	事業内容	教材備品及び体育備品の整備	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,508 千円 (1,415 千円)	200 千円 (156 千円)	0 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】（H29年度実績） 津奈木小：上皿自動はかりセット・コートブラシ 津奈木中：ブルーレイレコーダー・実物投影機 【成果等】 新学習指導要領に沿った教材備品の整備、及び老朽化した体育備品等の更新により、それらを活かした分かりやすい授業、また安全で快適な授業を行う事ができ、学力の充実が図られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	H29. 3. 31の学習指導要領の改訂（32年度は小学校、33年度は中学校）により新教育課程となり、それに伴った教材備品の整備を行うことによって、児童・生徒に分かりやすい授業が行われるよう、学習環境の整備を目指す。また、引き続き教材備品の充実を図るとともに、積極的な活用を指導していく。		
学識経験者意見等	教育活動に必要な機材等は出来るだけ揃え、学校にはその活用をはかってもらいたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	6		
事業名	英語教育推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	確かな学力の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)等を活用し、義務教育時の外国語教育の強化・充実を図るとともに、国際的な視野を持ったグローバルな人材育成を目的とする。	
	事業内容	ALT(外国語指導助手)2名雇用し、町内各小・中学校及び幼稚園・保育園に派遣 (1日7時間 週35時間 月20日勤務)	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	8,684 千円 (8,156 千円)	9,329 千円 (8,507 千円)	8,780 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 津奈木小…週3回、幼稚園・保育園…月1回 以外は中学校勤務 【成果等】 中学校においては、少人数学級での英語指導が行われており、英語暗唱大会でも好成績を修めるなど大きな成果を出している。また、3級及び4・5級を中心に英検合格者も多い。 小学校においては、総合学習により英会話の指導を行っており、子どもたちも英語に親しみを持った学習となっている。また、幼稚園・保育園では、あいさつや歌、七夕、クリスマスといった行事で英語にふれる機会を増やし、園児も楽しみにしている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	中学校においては、ALT及び少人数学級の活用でよりきめ細やかな指導をすることにより、また、英検受験料の補助制度を活用し、今後も更なる英語力の向上を図っていく。 小学校においては、平成28年度から文科省の教育課程特例校となり全学年で外国語活動を行っているため、ALTの更なる活用を推進していく。 幼稚園・保育園においては、就学前教育の一環としての英語教育の更なる充実を図り、小学校へと繋げる。		
学識経験者意見等	一小一中という中で、ALTが2人体制という英語教育環境は恵まれた状況にある。今後もこの体制を継続して欲しい。また、学校だけでなく一般の人を対象にした英語講座等についても積極的に展開して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	7		
事業名	コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組 （各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	開かれた学校づくり		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	教育委員会から指定した各学校運営協議会が、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べ学校の様々な課題解決に参画する。また、学校と地域が力を合わせ、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちの成長を支え、開かれた学校づくり、地域コミュニティづくりを進める。	
	事業内容	H28年4月1日に指定した各学校運営協議会の活動を通して、学校を核とした地域コミュニティづくりと学校・保護者・地域住民が連携協働する地域に開かれた・特色ある学校づくりを推進する。	
予算額 （決算額）	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	0千円 (0千円)	0千円 (0千円)	0千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 平成28年4月1日に全学校指定校とした。各学校運営協議会を主に学校基本方針、教育活動について定期的に会議を開き承認、活動を行った。また、2校合同会議(H29.6.8開催)を行うことにより、各学校が事例発表を行い、その後、情報交換ができ、より良い取り組みが行えた。 【成果等】 各学校運営協議会で承認された、学校基本方針に沿って教育活動、開かれた学校づくり、地域コミュニティづくりが進められた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	各学校運営協議会を中心に学校基本方針に沿って、開かれた学校づくり、地域コミュニティづくりを推進していく。		
学識経験者意見等			
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	8		
事業名	要保護・準要保護支援事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	子育て支援		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	生活保護を必要とする世帯、または生活保護に準じた保護が必要な世帯の児童・生徒に対し、義務教育を円滑に実施することができるよう援助を行う。	
	事業内容	経済的理由により就学困難と認められる小学校児童・中学校生徒の保護者に対して、学用品費・給食費等の援助を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	2,846 千円 (2,607 千円)	3,231 千円 (2,181 千円)	2,841 千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 小学校児童19名（要保護4名・準要保護15名）、中学校生徒12名（要保護1名・準要保護11名）に対して学用品費、給食費等の援助を行った。 【成果等】 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒が、円滑に就学することができた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	国の定められた基準により認定、援助を行っているが、収入減等様々な理由により就学が困難な家庭は未だに多い状況である。学校を通じて各家庭への援助制度の周知を行う必要がある。		
学識経験者意見等	経済的困窮状況の家庭に対する支援策として、今まで成果をあげている。今後も継続して事業の取り組みをお願いしたい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	9		
事業名	特別支援教育就学奨励事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	子育て支援		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	小中学校の特別支援学級の児童生徒の保護者に対して、その負担能力に応じて就学に要する所要の経費を支給し、保護者の負担軽減を図る。	
	事業内容	小中学校の特別支援学級の児童生徒の保護者に対して学用品費・給食費等の援助を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	214 千円 (196 千円)	383 千円 (328 千円)	428 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 小学校児童6名、中学校生徒3名に対して学用品費、給食費等の援助を行った。 【成果等】 特別支援学級の児童・生徒の保護者の負担を軽減することができ、児童・生徒の教育への支援ができています。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も、本事業の適正な実施により、特別支援教育を継続的に支援していきたい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	10		
事業名	学級支援員事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	個に応じた支援		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	学校の教育指導に基づく諸活動が円滑に進むように、必要に応じた教員補助員（学級支援員）を配置する。	
	事業内容	授業指導の補助や特別な支援を要する児童の身辺介助及び安全管理などを行う学級支援員を配置した。 ①津奈木小学校・・・4名 ②津奈木中学校・・・3名	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	7,912 千円 (7,773 千円)	8,463 千円 (7,647 千円)	8,656 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 21年度からは緊急雇用創出基金事業の活用により手厚く児童生徒への支援が行えるよう増員を図っており、22年度からは各小中学校に合計8名を配置。28年度からは単独事業により7名を配置し、支援を要する児童生徒のみならず、学級全体に気を配り担任等の補助をしている。 【成果等】 支援・介助が必要な児童生徒について、集団生活への適応指導補助や学習指導補助等を行い、学級担任等を補助することにより学級全体の円滑な経営や、学力の向上へと成果があった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	平成24年度までは、緊急雇用創出基金事業を活用しながら、支援員の配置を行っていたが、その後は、単独事業により実施している。今後も、学校現場や保護者、町の福祉部局と連携を取りながら、支援の必要な児童・生徒の把握に努め、学級全体の学力向上を目指し適切な支援員数の配置を計画し要望していく。		
学識経験者意見等	全国的に支援が必要な児童生徒に対するマンパワーの充実は欠かせない状況にある。本町では、支援員の絶対数確保を継続して行ってもらっていることは、大変ありがたいことである。子どもの将来を見据えた投資は充分評価できる。今後も継続して取り組んで欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	11		
事業名	学校図書購入事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	読書活動の推進		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	学校図書館の計画的な利活用、図書に親しむ場の工夫を目的とする。	
	事業内容	学校毎に毎年図書購入を行っており、学校図書館を多く利用することで読書を習慣づけ、心を育む場及び学力向上に結びつけられるように、学校図書の整備を実施している。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	600千円 (454千円)	600千円 (536千円)	600千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取り組み状況及び成果等		
	【取り組み状況】 児童及び生徒に合わせた図書購入、また幅広いジャンルの図書購入に心がけ整備をしており、多くの児童・生徒の図書館利用を図っている。 【成果等】 多くの児童生徒が休み時間などに学校図書館を利用しており、学習の場、図書に親しむ場として活用されている。図書基準の達成率については、標準を越えている。		
	今後の取り組みの方向性		
	読書を通して、児童・生徒の個性を生かした教育活動ができるため、今後も購入（更新）を継続していく。また、学校図書館司書の配置、蔵書のデータベース化及び電子管理やコンピューターの整備等が今後の課題である。		
学識経験者意見等	子ども達にとって読書は人格形成のうえでも大切な役割を果たすものである。町立図書館とあわせた読書推進の活動に更に取り組みんで欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	12		
事業名	道徳推進事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独
町教育構想とのかわり	豊かな心の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	道徳時間の充実、系統性、計画性のある体験活動の重視。 各小・中学校で、一人一人の人権を尊重した教育の徹底を図り、差別をなくす心豊かな児童生徒の育成を目指す。	
	事業内容	毎年、小・中学校の教員を対象とした研修で、講師を招いた人権教育に係る研修を行い、児童生徒への指導力向上を図っている。 また、中学校では、「ようこそ先輩」やキャリア教育をとおして、体験活動の中から命の尊さを学ぶ。各学校の食育関係の講演等では地域との交流を深め、関わりを持つ。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	30 千円 (17 千円)	35 千円 (0 千円)	35 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 毎年、教職員を対象とした人権研修を行っている。 また、中学校では、「ようこそ先輩」をとおして、体験活動の中から命の尊さを学んでいる。 【成果等】 差別をなくす児童生徒の育成を目指し、人権作文や人権標語作品を募集することができた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も、「命の尊さ」を中心とした心豊かな児童生徒の育成を重視し、体験活動を生かした道徳教育を行っていく。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	13		
事業名	心の教室相談員事業（中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	豊かな心の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	生徒が悩み等を気軽に話し、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る心の教室相談員を中学校に置き、生徒が心のゆとりをもてる環境を提供する。	
	事業内容	生徒の悩み相談を受けたり話し相手となる。また、保護者と学校の連携の支援を行う。その他学校の教育活動の支援（教育指導、部活動の指導は除く）を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	720千円 (720千円)	720千円 (720千円)	720千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取組み状況及び成果等		
	【取組み状況】 登校しても教室に入れない生徒等に対して、生徒の悩み相談・話し相手・教育活動の支援。 また、一般の生徒に対しても、心の支援や相談の窓口になっている。 【成果等】 生徒の心のケアに役立っている。		
	今後の取組みの方向性		
	今後も、「命の尊さ」や「自己有用感の育成」を重視し、生徒の悩み・話し相手等として指導支援を継続していく。		
学識経験者意見等	様々な悩みや心配ごと等に対しノウハウを持った相談員による対応は効果が期待できる。今後も生徒の相談に適切に対応して欲しい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	14		
事業名	不登校・いじめ等の指導支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生徒指導の充実		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	町内の小・中学校から不登校児童生徒といじめの根絶を図る。	
	事業内容	各学校に対して、不登校児童生徒の解消と、いじめ根絶のための指導・助言を行う。 また、平成28年度には、いじめ問題対策連絡協議会を設置し、今後は当協議会を中心に不登校いじめ等の指導支援を行っていく。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	63千円 (21千円)	91千円 (16千円)	91千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 毎月の定例報告、町内校長会で不登校の児童・生徒の実状を把握し、各学校に対して指導を行った。 6月のいじめ根絶月間の取り組みとして、いじめ根絶の標語、ポスター募集等を行い啓発を図った。 平成30年3月1日に「津奈木町いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、関係機関の連携体制を整備するとともに、情報交換を行った。 【成果等】 町内の不登校児童生徒は1名だった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	各学校と連携してさらに取り組みを充実する必要がある。また、不登校児童生徒を出さないよう引き続き各学校との連携を維持する。また、引き続き津奈木町いじめ問題対策連絡協議会を開催し、各関係機関と情報交換等を行う。		
学識経験者意見等	不登校にならないよう十分な対策を取ってほしい。そのためには関係機関との連携はもちろんであるが、定期的なアンケート調査や未然防止のための情報交換を積極的に行って欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	15		
事業名	学校版環境ISOの推進（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	環境教育の充実		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	「環境立県くまもと」の推進に資する学校づくりのため、子どもたちが自ら考え行動することで、環境にやさしい心情を育むとともに、環境保全活動や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成する。	
	事業内容	各学校が定めた目標（ペットボトルの蓋何個収集等）に沿って、児童生徒・職員・地域が一体となって取り組み、その実績を評価し、不十分なところを見直しながら、継続的に環境を改善させていく。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	0千円 (0千円)	0千円 (0千円)	0千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 津奈木小学校は太陽光発電を取り入れ発電の視覚化を図っている。また、児童・職員がそれぞれ5つの目標をたて、行動している。 津奈木中学校では、生徒が5つ・職員が2つの目標をたて、行動している。 町内の全小中学校が「学校版環境ISO」の取り組みを実施した。 【成果等】 児童生徒・教職員に資源を大切にしようとする意識が身につき、節電や節水で成果もでている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性 学校だけの取り組みではなく、家庭生活でも節水やごみの減量等取り組みが、根付くよう、継続して行いたい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	16		
事業名	就学時健康診断事業（幼稚園・各小学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	健康教育の充実		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	平成29年度小学校入学予定者が、適切な教育を受けられるように、発達検査・健康診断を行う。	
	事業内容	平成29年度小学校入学予定の児童を対象に、知的発達の度合いを調べる検査を行う。また、「学校保健法」「学校保健法施行規則」等に基づいて、内科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科等の診断を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	40千円 (37千円)	40千円 (37千円)	40千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取り組み状況及び成果等		
	【取り組み状況】 平成29年10月13日に29名を対象に津奈木小学校で実施した。 【成果等】 小学校入学予定者が適切な教育を受けるための資料となった。		
	今後の取り組みの方向性		
	「学校保健法」「学校保健法施行規則」等に11月末日までに行うことが義務付けられている。町でも同法令等に従い継続していきたい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	17		
事業名	学校医の指定（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	健康教育の充実		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	学校保健法施行規則に基づく検査を実施することで、児童・生徒の健康の保持増進を図る。	
	事業内容	①学校医年報酬として年度末に1回支払い。 ②年度始めに各学校で健康診断が行われるので、費用弁償として支払い。各小・中学校の児童・生徒の健康診断を実施。（内科医・歯科医・耳鼻科医・眼科医・薬剤師）	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,692 千円 (1,420 千円)	1,536 千円 (1,420 千円)	1,465 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 児童・生徒の健康保持のため標記の各検診を行っている。 【成果等】 児童・生徒、及び教職員の健康を保持することで学力向上にも繋がり、学校教育の円滑な実施と成果が確保できた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も、児童・生徒、及び教職員の健康保持・増進に留意し、学力向上に繋げていけるよう継続していく。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	18		
事業名	学校施設整備事業（小学校・中学校・幼稚園）		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年事業 <input type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	安全教育の充実と安全な環境づくり		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	改善の必要な学校施設を整備することにより、児童、生徒の安全で安心な学校環境の向上を目的とする。	
	事業内容	学校施設の整備	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	10,690 千円 (10,421 千円)	5,412 千円 (5,198 千円)	4,459 千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】（H29年度主な整備） 津中…グラウンド照明工事、職員室LED照明工事、図書室前パラペット補修工事 【成果等】 細かい維持補修に加え、津奈木中学校ではグラウンドに照明器具を3基設置する工事や、職員室の照明器具をLEDに取り替える工事、図書室前のパラペットの落下による補修工事を実施することにより、児童生徒が安全で安心できる学校環境の整備を図ることができた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	平成30年度も、継続して軽微な補修や早急に対応が必要な修繕等を行い、児童生徒の安全対策、学習環境の整備を図る。老朽化した施設の計画的な更新が課題である。		
学識経験者意見等	小学校体育館正面の側溝に蓋がないため、子ども達が負傷する恐れがある。側溝蓋の設置をお願いしたい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	19		
事業名	健康管理事業（各小学校・中学校）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	健康教育の充実		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	学校保健法施行規則に基づく検査及び労働安全衛生法に基づく教職員の健康診断を実施することで、児童・生徒、教職員の健康の保持増進を図る。	
	事業内容	①各小・中学校児童・生徒の検診（心臓検診：小学校1・4年生、中学校1年生）（検尿・血圧検査：全児童・生徒）を実施した。 ②教職員の定期健康診断（職員健康診断・結核検診・胃がん検診等）を実施した。	
予算額 （決算額）	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	711 千円 (512 千円)	702 千円 (515 千円)	710 千円
一次評価 <small>（教育委員会事務局）</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 児童・生徒及び教職員健康保持のため各検診を行っている。 【成果等】 児童・生徒、及び教職員の健康を保持することで学力向上にも繋がり、学校教育の円滑な実施と成果が確保できた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も、児童・生徒、及び教職員の健康保持に気をつけ、学力向上に繋げていけるよう継続していく。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>（教育委員会）</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	20		
事業名	子ども見守り支援事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	安全教育の充実と安全な環境づくり		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	子どもたちが安心して教育を受けられるよう、家庭・地域の関係団体と連携し、地域全体で学校の安全に取り組む体制を整備する。	
	事業内容	地域学校安全指導員による巡回指導の実施。(謝金は県から直接指導員へ支払われた。)	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	0千円 (0千円)	0千円 (0千円)	0千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 町交通指導員を地域学校安全指導員に委嘱し、小学校区で週に1回、下校時に通学路での巡回指導を行ってもらった。 【成果等】 子どもたちに安心感を与えるとともに、周辺地域の犯罪の抑止力向上につながった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	平成30年度からも、昨年度と同様に町交通指導員を地域学校安全指導員に委嘱し、通学路での巡回指導を行ってもらう。 引き続き子どもたちが安心して教育を受けられるよう取り組みを行いたい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	21		
事業名	幼・保、小、中連携事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	就学前教育の充実		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	津奈木町内の幼稚園・保育園、小学校、中学校が連携することによる教育の円滑な移行の実現を図り、家庭及び地域社会と協力し園児、児童、生徒の健全な育成を推進することを目的とする。	
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 協議会での連携事業の計画、推進 「基本的生活習慣」の定着の実践 小1プロブレム、中1ギャップを未然に防止するため、小1の児童が卒園した幼稚（保育）園を訪問、あるいは小6の児童が入学前に中学校を訪問するなどの交流事業の開催 	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	50千円 (50千円)	50千円 (50千円)	50千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取り組み状況及び成果等		
	【取り組み状況】 ・町内保育園、幼稚園、小学校、中学校、役場、教育委員会からなる協議会の開催 ・「基本的生活習慣」を定着させるカリキュラムに沿った各学校（園）間での取り組み及び交流事業の開催 ・職員間の情報交換 【成果等】 連携協議会及び作業部会を中心として、基本的生活習慣を定着させるカリキュラムに沿って共通した認識のもとに、各成長段階での取り組みが行われ、目指す児童像の達成に向けての取組で一致協力ができている。		
	今後の取り組みの方向性		
	平成21年4月から新しい保育所保育指針と幼稚園教育要領が施行され、小学校との連携の推進に関する内容が盛り込まれ、小学校学習指導要領においても、幼稚園に加え保育所との連携が新たに明記され、更なる幼・保、小の取り組みの推進と中1ギャップへの対応が求められている。このため、今後も連携協議会を中心に基本的生活習慣の定着を目指し、成長過程に応じた指導の強化を図る。		
学識経験者意見等	子ども達は幼くても子どもなりに進学に不安があるものである。交流を持ってもらい少しでも不安解消に役立ててもらいたい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	22		
事業名	英語検定補助事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	確かな学力の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	グローバル化が進む中、英語力の向上を図り世界へ進出する人材の育成を育むことを目的としている。	
	事業内容	中学校の全生徒を対象として、英語検定の受験料の補助を実施。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	293 千円 (260 千円)	300 千円 (262 千円)	311 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■ 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □ 見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □ 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □ 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 全生徒119名のうち108名が本補助事業を活用。 【成果等】 80名が合格することができ、合格率も70%であった。 なお、準2級を6名受検し2名合格となった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	平成30年度もALTと併せて本事業を活用し、津奈木中学校生の英語力の底上げを図っていきたい。		
学識経験者意見等	これから英語力の重要性は、益々高くなると思われる。この事業は、英語力向上に一役かっていると思われ、実績も出てきている様である。継続して実施して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■ 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □ 見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □ 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □ 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	23		
事業名	町民講座		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民講座を通し、充実した生活や更なる活動の活性化を図るため、生涯学習活動のサポートを目的とする。	
	事業内容	各種講座の開設 H29年度実施 みんなのヨガ教室・健康ダンス教室・みんなで歌おう教室・おりがみ教室・フラワーアレンジメント教室（延べ参加者数：80名） *町民講座は、4年で終了する。以後は、自主講座による活動を推進する。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,065 千円 (827 千円)	950 千円 (890 千円)	940 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組み状況 平成29年度は、5講座（80名）の実施。 ○成果等 講師・受講者の方が楽しく集える場であるとともに、生涯学習フェスティバルにおける発表・展示など、講座における成果が年々上がっていると思われる。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	町民講座の活動状況など、広く町民の方々への周知や啓発を図るためにも、町ホームページや広報誌などの活用が必要と思われます。 また、今後の活動の更なる充実を図るためにも、若い世代の方々も取り組めるような講座の実施など考えていきたい。		
学識経験者意見等	町民講座から自主講座にスムーズに入っていけるような取り組みを行って欲しい。講師の確保に課題もあるが、一度終了した教室も必要であれば再度開講する検討も必要である。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	24		
事業名	あけぼの大学		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独
	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	「生涯学習」としての社会教育の充実をめざし、特に高齢者の生活文化の向上のために、生活安定と希望に満ちた生活を進めることを目的とする。	
	事業内容	津奈木地区・赤崎地区・平国地区の3会場で年間18回の講義や実習を実施（1講義1時間30分） 研修内容：開校式及び軽スポーツ、卓球バレー、音楽療法、人権講話、グラウンドゴルフ。大人の読み聞かせ、社会探訪	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	195千円 (176千円)	195千円 (159千円)	165千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 津奈木地区：年6回（83名）、赤崎地区：年6回（79名）、平国地区：年6回（134名） ○成果等 多種多様の講座は、身心共に活性化を促し、参加者同士のふれあいと意欲を湧かせるものであり、地域内のコミュニケーションの活性化につながった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	<ul style="list-style-type: none"> ・社協(老人会)と連携を図ると共に又近隣の声掛けで参加者を増やす。 ・他市町村の取り組みを学ぶ。 ・平国地区における「たっしゃか塾」との合同開催を検討する。 		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	25		
事業名	自治公民館の支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	地区公民館の活動等の促進を図ることを目的とする。	
	事業内容	公民館活動の事業の継続・新規の事業を実施していくなかで、行事運営上での資金不足等の支援を行い、公民館活動を促進する。 (公民館活動奨励補助金)	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,100 千円 (1,050 千円)	1,100 千円 (1,100 千円)	1,100 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 22地区を補助対象とし 1地区当たり5万円を交付した。(22地区より申請有り) ○成果等 それぞれの公民館で独自の活動や、地区交流を行い、公民館を中心として地域の繋がりを深め活性化が図られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	全地区に50,000円を上限とする地区活動への補助を継続して行い、現在の地区活動から新たな活動の取組への支援を行っていく。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	26		
事業名	生涯学習フェスティバル		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民講座や自主的な文化活動の1年間の学習の成果を発表することにより、個人の学習意欲等を高め、生涯を通して学び続ける事の楽しさと充実感を感じてもらう。	
	事業内容	町内における生涯学習活動及び地域で結成された自主活動の団体、中学校における合唱、伝統芸能等の学習成果の発表会を実施。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	75千円 (75千円)	75千円 (70千円)	75千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組の状況 出演団体 ・発表部門：10団体 ・展示部門：4団体 ○成果等 発表会において、1年間の学習の成果が出ており、翌年度の学習意欲に繋がった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も町民講座の実施と自主講座の支援を図り、学習意欲を見出させるために発表会を実施することにより生涯学習を推進する。 「染竹棒踊り」の復活の後押しをしているが、踊り手の状況が厳しい状況である。本フェスティバルへの参加を地区及び個別に相談しながら進めている。		
学識経験者等意見	住民の絶対数の減少と高齢化により、参加者の減少はこの事業に限らず進んでいる。そのような中ではあるが、新規加入者の勧誘について団体毎の努力を期待する。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	27		
事業名	文化センター改修事業		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年事業 <input type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	文化センターの維持管理のため	
	事業内容	<input type="checkbox"/> ロビー用イスの購入 <input type="checkbox"/> 会議室エアコンの老朽化に伴う工事	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,991 千円 (1,879 千円)	1,840 千円 (1,581 千円)	0 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取り組み状況 施設の利便性及び安全性を図るための工事等を行った。 <input type="checkbox"/> 成果等 施設をより良く利用することができるようになった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	文化センターは平成2年に建設され、老朽化が進んでいるので、長寿命化計画等を策定し、必要に応じて維持管理のための工事を行っていかねばならない。		
学識経験者等 意見等	建築後年数が経過しており、細かい部分的な改修が必要になってきているため、適宜改修を行いながら大規模改修についても検討が必要である。照明や冷暖房設備、トイレの改修等を行い利便性の向上をはかって欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	28		
事業名	文化センター運営事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民の文化と福祉の向上を図るために行う。	
	事業内容	町民の教養及び文化の向上のための事業、町民の健康及び体力の増強に関する事業を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	13,104 千円 (12,396 千円)	14,081 千円 (12,809 千円)	9,640 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況(利用者数)・・・ピアノ教室発表会・各種公演・研修会等 H28・・・27, 089人 H29・・・25, 897人 ○成果等 文化センターの利用件数状況は概ね横ばい傾向である。 (集客については当年の大きな催しの開催により異なってくる)		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	他の施設と違い、ホールが広すぎないために特に個人の発表等にも利用が多い。全体の使用状況は横ばい傾向ではあるが、このまま運営を維持しつつ利便性の向上に努めていきたい。		
学識経験者意見等	トイレについては、イベント時に混雑し来場者に迷惑を掛けていると聞いている。汚れが目立つ時もあり、職員だけでは対応できないところもあるため、業者への定期的な清掃委託の検討が必要である。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	29		
事業名	文化センター自主事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯学習の振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民が芸術文化の鑑賞を通じて日常生活をより豊かなものにしていくため	
	事業内容	隔年開催としている。 影絵劇「長靴をはいたねこ」（劇団かかし座）及び「吉田正記念オーケストラ」コンサートを開催した。 ○成果等 集客数 影絵劇（353人）、コンサート（405人）	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	0千円 (0千円)	1,543千円 (1,398千円)	0千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取り組み状況及び成果等		
	大人から子供まで音楽にふれることにより、文化的教養を向上させることができた。数年前から「童謡の里づくり」に取り組んでおり、昨年度はミュージカル劇を上演し、多くの観劇者があった。 本事業は、隔年で開催している（開催年度；H29、H31、H33…）		
	今後の取り組みの方向性		
自主事業は、引き続き隔年において、文化的教養を向上させるために、住民等からの要望を受け入れながら公演会等を企画し開催する。 またコンサート等を聴いたり観劇する時の態度やマナーについては、少しずつ良くなってきているが、まだ改善の余地が残っているため、今後も機会を捉えて啓発を行っていく。			
学識経験者意見等	文化センターの活用率は、施設の規模が地域人口に合っており、高いようである。自主事業は予算の制限があるが、文化事業発展のため工夫し実施して欲しい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	30		
事業名	人権教育推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	人権教育の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	住民の人権が尊重される社会を目指し、人権問題の理解と認識を深め、同和問題をはじめ人権問題の解決を図る。	
	事業内容	住民の人権意識の高揚を図るための学習会や人権教育に関する認識と力量をたかめるための学習会を実施。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	224千円 (58千円)	60千円 (46千円)	468千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取組の状況 ・水俣芦北地区人権教育研究大会に本町から68名が参加した。 ・あけぼの大学での学習会実施や県主催の学習会への参加。 <input type="checkbox"/> 成果等 ・学習会等において、人権に対する意識の高揚が図られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	人権問題の理解と認識を深めるため、今後も人権の意識の高揚を図るための学習会を実施する。 行政職や学校関係者に限らず、広報誌や有線放送等の媒体を通じて、広く住民に人権啓発を呼びかけ、意識の向上に努める。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	31		
事業名	図書館運営事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	読書活動の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民の利用に供し、町民の文化的教養の向上、調査、研究、レクリエーション等に資するため。	
	事業内容	図書館利用者のニーズに応えながら、様々な分野の図書を毎年購入している。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,420 千円 (1,417 千円)	1,765 千円 (1,674 千円)	1,508 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 29年度 図書購入冊数 886冊, 寄贈 22冊 蔵書総数 18,918冊 うち、延べ貸出冊数9,822冊 入館者数 10,743人(うち、貸出利用者数4,448人) ○成果等 入館者・貸出冊数は近年は横ばい傾向にあるが、下校時や夏休み等の長期休暇時に多くの児童生徒が図書館を利用しており、利用に関しては有効利用されている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	児童生徒の図書館の利用は児童生徒数の減少にもかかわらず現状を維持しているが、一般の利用が全体的に少ない。 多くの新刊や話題性のある書籍を購入し、貯蔵書籍を増やすことで魅力ある図書館としていきたい。また広報誌等で書籍を紹介することで利用促進をはかり、休日等に家族で利用しやすい図書館を目指していく。 また、より多くの住民に図書の利活用を広げるため、司書の導入を検討する。		
学識経験者意見等	大人も利用しやすく、蔵書も充実した図書館にして欲しい。返却状況についても定期的にチェックを行い、管理をしっかりと行っていくためにも司書の雇用も検討するべきである。司書については、学校図書館との連携も図って欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	32		
事業名	おはなし会（読み聞かせ）		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	読書活動の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	子どもに小さいうちから読み聞かせをすることで、読書に興味をもってもらい、想像力豊かな子どもに育てもらう。	
	事業内容	芦北おはなし会のメンバーに依頼し、子ども読書の日にあわせておはなし会を実施した。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	30千円 (10千円)	30千円 (20千円)	30千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 子ども読書の日にあわせておはなし会を1回実施。 ○成果等 すぐ成果があらわれるものでもないが、参加者は一生懸命に聞き入っていた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	読み聞かせの効果は実証済みであり、今後はおはなし会等を小学校でも実施し、一人でも多くの児童が本に興味を持ち童話発表会につながる取り組みを検討したい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	33		
事業名	童話発表		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	読書活動の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	読書は人間形成上とても重要な役割をもっている。子どものころから読書に親しみ、読書の楽しさを推進していく。	
	事業内容	小学校から選ばれた各学年代表2名の児童12名が発表を行い、優秀者3名を水俣芦北童話発表大会に推薦した。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	12千円 (12千円)	47千円 (47千円)	12千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>○取り組み状況 町内から選出された低・中・高学年12名が競い、その中から本町の代表として3名が選出・推薦され、水俣芦北地区大会(管内小中学校15名)に出場した。 なお、29年度は津奈木町が郡大会の主管町であったため、審査員報酬(4名)及び郡大会参加報償費を別途支出している。</p> <p>○成果等 本町からは水俣芦北の代表には選ばれなかったが、上位入賞者もあり努力の後の感じられた。</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
今後も小学校において、人格形成上重要な意味をもつ読書活動をさらに勧めて行きたい。			
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	34		
事業名	子ども読書の日		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	読書活動の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	読書は人間形成する上でとても重要な要素となっているため、「子ども読書の日」に合わせて事業を行う。	
	事業内容	「子ども読書の日」に合わせ図書館の図書貸し出しベストテンを選び、表彰を行った。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	10千円 (10千円)	10千円 (10千円)	10千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取組み状況及び成果等		
	○取組み状況 図書館に所蔵している書籍のうち、もっとも多くの本を借りた10名を表彰した。 ○成果等 表彰されることで、もっと読もうという意欲付けができた。		
	今後の取組みの方向性		
	小さい時から本を読むことは大切であり、学力の向上にも繋がるので、多くの児童、生徒に図書館の利用を呼びかける。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	35		
事業名	食育推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	家庭教育の充実		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	自分たちがなにげなく食べている食べ物について、立ち止まって考え、地域に伝わる食べ物を見直し、食生活の知恵について考え、より良く生きる為の力を身につけさせる。	
	事業内容	子ども食育連携会議、食育推進交流シンポジウムの開催、食育フォーラムの開催にむけた実行委員会の開催。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	0千円 (0千円)	0千円 (0千円)	0千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 遊びの学校のなかで田植え・稲刈りや、キャンプでの食事づくりを実施する予定であったが、参加児童が少なかったため、実施できなかった。 また、小学校ではサラダ玉葱、中学校では干し大根作りを体験した。		
	○成果等 子どもたちの食に対する意識を高めるため、収穫や調理等を自らが体験する場を与えることで食に対する意識の向上につながっている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
食育連携会議や栄養士等による栄養指導等を実施する。 児童の食育に対する意識を高めるために、保護者を巻き込み推進していく。			
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	36		
事業名	「親の学び」プログラム事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	家庭教育の充実		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	家庭を取り巻く学校等、地域、事業者、行政その他県民みなで家庭教育を支えることを目的に制定された「くまもと家庭教育支援条例」の規定に基づき、親としての学びの機会や親同士のつながりをつくる機会を提供する	
	事業内容	親としての学びや親になるための学びに取り組みとして、幼稚園、保育所、小学校、中学校等において児童生徒及びその保護者に対し親の学びのための講座を開催する。 また、本条例及び「くまもと家庭教育10か条」の周知を広く図る。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	— 千円 (— 千円)	— 千円 (— 千円)	— 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組み状況 「親の学び」講座を小・中学校及び幼稚園において、学級懇談会等を活用して開催した。またプログラムトレーナー育成として、町内学校の先生や教育委員会職員等が研修等を受講した。		
	○成果等 参加を強制できないため、全体的に講座を開催する際の参加者が少ない。興味及び関心を深める必要がある。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
家庭教育支援の重要性として、児童・生徒や保護者等の本事業の理解を深めるため、広く住民に対し広報紙等を通じて周知を行う。 また、講座を開催するに当たり、学校との連携を深め、より多くの保護者が参加しやすい環境を整える。			
学識経験者意見等	家庭教育の重要性について親に理解を促したり、地域に対してもしっかりと周知をお願いしたい。地域の活動へも保護者と子どもに参加を促し、連携が取れる関係づくりを構築して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	37		
事業名	親子凧揚げ大会		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	家庭教育の充実		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	新春を迎え、昔各家庭で行なっていた凧揚げの機会をもつことで、親子で楽しみ、きずなを深めることを目的とする。お金を出せば簡単に手に入る時代に凧を手作りする事で、物づくりの貴重な経験をしてもらう。	
	事業内容	手作りの凧を持参してもらい、親子たこあげ大会を総合グラウンドにおいて実施。（*特別賞・参加賞あり）	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	56千円 (48千円)	35千円 (27千円)	35千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取り組み状況及び成果等		
	○取り組み状況 1月14日(日)開催、こども(32名)や保護者など約70名の参加があった。 ○成果等 凧を親子で製作し、それを一緒に揚げることで親子の繋がりを強くする機会とすることが出来た。また、日本の伝統的な遊びを肌で感じることで、日本の文化への理解を深めることへの一助となった。		
	今後の取り組みの方向性 少子化の中ではあるが、今後も親子で楽しめる新春の恒例行事として行っていきたい。また、以前行っていた「凧作り教室」を行うことで、更なる参加者増が見込まれるため、実施を検討したい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	38		
事業名	婦人会の育成・支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	婦人会の運営と活動を支援することを目的とする。	
	事業内容	婦人会活動の資金助成。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	400千円 (400千円)	400千円 (400千円)	300千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組の状況 婦人会活動の助言及び補助金を支給した。 ○成果等 婦人会員(40名)は減少しつつあるが、活動自体は継続されている。行政と連携した婦人会活動の役割は必要である。継続した補助金の支給により円滑に進められるよう指導していく。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
婦人会員数が減少しつつあり、今後の活動に影響がないように更なる活動の助言や指導を行いながら、補助金等の減額を行ったが支援についても継続することが必要と考えられる。			
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	39		
事業名	県文化協会連携		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町の文化協会の育成・支援を行うため県の文化協会より助言・援助をしてもらい連携を図ることを目的とする。	
	事業内容	県文化協会総会への出席、市町村文化協会会長・事務局長会議への出席	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	35千円 (35千円)	35千円 (29千円)	29千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取り組み状況 市町村文化協会事務局長会議等に参加し、新しい情報の入手を行った。 <input type="checkbox"/> 成果等 県内の文化協会の取り組み状況を知ることができた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も町の文化協会費を有効に使用し、県の助言を基に、町の文化協会に反映していく。最近では市町村文化協会事務局長会議等に参加しておらず、新しい情報の入手がない状況であるので、会議には積極的に参加したい。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	40		
事業名	町文化協会の育成・支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町の文化協会の育成・支援を行うことを目的とする。	
	事業内容	ふれあい祭りの文化部門に参加するため、文化協会に対して補助金を交付している。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	180千円 (180千円)	180千円 (180千円)	180千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 ふれあい祭り展示部門には文化協会から8団体が参加し、発表部門においては文化協会団体10団体が参加して行われた。 また、文化協会自主事業として、視察研修(博多座:水森英夫ファミリー歌の共演観劇)開催した。10月15日「長靴をはいたねこ」コンサート講演会劇団かかし座の後援を行った。2月10日「吉田正記念オーケストラ」コンサートを開催した。 ○成果等 2017ふれあいまつりの文化祭(展示部門及び発表部門)も大盛況であった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	ふれあい祭りの展示部門、発表部門とも参加が多く、今後も同様に開催していくべきである。また、文化協会主催のを開催していく。さらに、文化協会が独立して運営していくための支援を行う必要がある。2018のふれあい祭りの発表部門については、1週間前の日で実施する方向で検討を行う。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	41		
事業名	PTA連絡協議会の育成・支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	PTA連絡協議会の運営と活動を支援することを目的とする。	
	事業内容	PTA連絡協議会活動の資金助成	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	92千円 (90千円)	92千円 (90千円)	92千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取組の状況 PTA活動の協議やPTA活動運営費の一部に補助金を支給し、活性化をはかっている。 <input type="checkbox"/> 成果等 ・夏祭りパトロール、PTAビーチバレー、指導者研修、講演会、母親部研修等を行っている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	PTA会員が幅広く活動できるように引き続き助言や指導を行う。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	42		
事業名	地域未来塾		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	諸事情により学習が困難であり、学習環境が十分定着していない中学生を対象として学習支援を行う。	
	事業内容	継続した学習活動を行い力を伸ばす機会を設け、学習習慣を身につける。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	88千円 (84千円)	86千円 (86千円)	86千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取組み状況 夏季休暇期間中に5日間実施。 受講者 津奈木中学校生徒 15人 授業時間 各5時間(1日当たり1時間×2コマ) 教科: 英語、数学(講師 英語1名、数学1名) <input type="checkbox"/> 成果等 受講生徒の学習習慣の向上につながっている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	本町及び管内では学習塾も少なく、かつ諸事情により塾利用ができない生徒のために、継続して事業を実施する。		
学識経験者意見等	経済的な理由や家庭環境の悪化により、十分な学習が出来ない子ども達のために、補助事業でなくなっても継続して行って欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	43		
事業名	有形文化財の保存・活用		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	文化財の保存継承		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	歴史的に重要な文化財を後世に残し、広く一般に鑑賞してもらう。	
	事業内容	年間を通じ文化財の保護に努め、特にめがね橋等の除草作業を実施する。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	403 千円 (130 千円)	840 千円 (744 千円)	235 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取り組み状況 文化財周辺の除草作業等清掃作業を実施した。 また、千代塚にある法面が崩壊していたため、復旧工事を実施した。 <input type="checkbox"/> 成果等 文化財周辺の環境美化と保護保全ができた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も重要な文化財を守るため、定期的に巡回を行い、保存に努める。 また、環境保全のための除草作業等適切な管理を実施する。併せて、石橋群については、ゲリラ豪雨等による河川の浸食も懸念されるため、重点的に点検を行う必要がある。		
学識経験者等 意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	44		
事業名	スポーツ教室事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	青少年の健全育成		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	スポーツ活動に親しみ、楽しさ、または厳しさを理解すると共に、青少年の健全育成や体力向上を図り、参加者相互の親睦と本町スポーツの普及・振興を図ることを目的とする。	
	事業内容	小学校運動部活動の社会体育移行に伴い、野球・バスケット・剣道並びに、バドミントン（小・中学生対象）を社会体育クラブとして開催している（※陸上部は、平成30年度より社会体育クラブへ移行）。また、町主催による、水泳教室・ラケットテニス教室など期間限定の教室も開催している。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	558千円 (416千円)	558千円 (387千円)	492千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	それぞれのスポーツクラブ・教室において、地域の方などが指導者となり活発に活動が行われている。しかし、小学校の運動部活動の廃止、社会体育クラブへの移行に伴い、運動する子供、しない子供の二極化が懸念されるため、学校・行政・地域の更なる連携のもと、活動の充実を図る必要があると思われる。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後も継続して行い、競技力の向上はもとより、スポーツを通して礼節を学びえる指導に努めてもらいたい。 ※小学校の部活動が社会体育へ移行するにあたり、現教室がその受け皿的役割を担うものか、総合型スポーツクラブの受け皿と併せて今後検討していきたい。 (※平成27年度より、検討委員会を設置し協議を行っている。)		
学識経験者意見等	小学校部活動の社会体育化へはスムーズに移行しており、将来的には総合型スポーツクラブとの連携をはかって欲しい。スポーツクラブは、児童数の減少で運営が難しくなっているため、芦北水俣地域を一つの活動組織として編成できないか検討して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	45		
事業名	遊びの学校・B&G海洋クラブ事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	青少年の健全育成		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	色々な遊びや海洋スポーツ活動、野外活動等を通じて、青少年の心身の健全育成や豊かな人間形成、体力向上、集団活動における協調性や、参加者相互の親睦を図ることを目的とする。	
	事業内容	田植え・稲刈りなどの農業体験や、キャンプ、ナイトハイク、登山、餅つき、アイススケートなどの活動（毎月1回の活動予定）や、海洋スポーツ活動（カヌーなど、7～8月）を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	651千円 (458千円)	599千円 (299千円)	614千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 年間を通した活動の実施。（7～3月：12回、参加者：11名（延べ参加者：84名））水俣市遊びの学校との合同活動も盛んに行っている。		
	○成果等 他団体との交流の場としても活用されており、有意義な活動ができた。また、B&Gスポーツ大会では、2名が県大会で優勝し、南九州大会へ出場。うち1名は南九州大会でも優勝した。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
例年、入会する子どもが限定されている。 今後は、更に子供達の参加意欲を持たせるため、広報誌等を活用し活動状況の紹介など行いたい。 また、指導者の資質向上にも努めたい。（海洋クラブ指導者）			
学識経験者意見等	B&G研修受講者を十分活用し、海洋性スポーツの普及に努めて欲しい。児童生徒の減少により会員の増加は難しいが、新しいメンバーの獲得方法を検討するべきである。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	46		
事業名	町民体育祭		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	スポーツの振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	スポーツを通じ、町民の融和と体力向上、健康増進を図るとともに、地域の活性化並びに地域間・世代間の交流の場とし、明るい町づくりを目的とする。	
	事業内容	町民体育祭（5種目開催） 男子ソフトボール・女子ミニバレー（5月）、野球大会・競舟大会（8月）、陸上競技大会（10月：※プログラムの大幅な見直しを行った。）にそれぞれ開催した。 ※競舟大会は、早朝からの雷雨により中止 ※町民体育祭全種目終了後、体育部長を通じアンケートを実施。そのアンケートをもとに、教育委員会・スポーツ推進委員会・体協理事会において協議を行い、種目・開催期日等の見直しを行った。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	2,203 千円 (1,359 千円)	1,733 千円 (1,394 千円)	1,668 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組みの状況 町民体育祭5種目の実施。（上記のとおり） ○成果等 どの地区も選手集めに苦慮している中、体育部長等を中心に地区民の協力のもと、大会を盛り上げてもらっている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
平成29年度に協議を行った結果、平成30年度より町民体育祭を下記のとおり実施する。男女混合ミニバレーボール大会（5月）、※男子ソフトボール大会中止、※野球大会（8月13日の1日のみの開催とする）、競舟大会（8月15日、例年どおりの実施）、陸上競技大会（10月）※再度、プログラムの見直しが必要。 ※平成30年度の各大会においてアンケートを実施し、各地区からの意見・要望等の集約を行っていく。			
学識経験者意見等	地区の人口そのものが減少し、高齢化している現状で大会出場者の確保問題は、大きな課題であった。翌年度からの競技の再編と内容の変更は、町民体育祭を末永く継続していくために必要な改革であり評価したい。今後も大会が継続できるよう必要な改革は続けてもらいたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	47		
事業名	町体育協会の育成・支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	スポーツを通じ団体指導者の育成・体力向上及び普及振興を図る。	
	事業内容	町民体育祭開催や郡民体育祭及び県民体育祭等の参加奨励及び支援、並びに各種団体への資金助成。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	2,903 千円 (2,903 千円)	3,006 千円 (3,006 千円)	2,750 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組の状況 町民体育祭5種目の開催や、市町対抗陸上競技大会・郡民体育祭・県民体育祭・三太郎駅伝大会・都市対抗駅伝大会の運営・協力や、大会への参加奨励及び支援を行った。 ○成果等 各種団体において活動が活発に実施された。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
行政主導で行う町民体育祭とは別に、体協加盟の種目協会等において、誰もが気軽に参加できるような「レクリエーション・スポーツ大会」等の実施など、自主活動もできる体制づくりなど今後必要と考えます。また、社会体育クラブにおける指導者の資質向上に寄与する研修会や、クラブ支援等も検討していきたい。			
学識経験者等 意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	48		
事業名	郡体育協会連携		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係機関・団体の組織化と連携		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町体育協会と郡体育協会及び各種目別団体と連携し、体育の運営の推進を図る。	
	事業内容	郡民体育祭や県民体育祭等の協議に伴う会議、及び郡の代表として県民体育祭に出場する選手に対する参加費用の援助。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	596千円 (596千円)	920千円 (920千円)	1,985千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<input type="checkbox"/> 取組の状況 ・郡民体育祭、県民体育祭、三太郎駅伝、都市対抗駅伝大会等の運営に対する協議、運営。 <input type="checkbox"/> 成果等 葦北郡（津奈木町・芦北町）の連携がとれ、特に県民体育祭の参加者の確保や他の各大会の運営がスムーズに図られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	今後町体育協会及び郡体育協会と連携し、郡内で一体となった体育の振興運営を図る。		
学識経験者意見等			
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	49		
事業名	社会体育指導者の育成		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	スポーツの振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	運動、スポーツ活動の普及・振興のため、住民に対し、活動の場の提供や、実技指導・助言を行うための指導者の育成を図る。	
	事業内容	スポーツ推進委員の活用や、各種スポーツ教室等の指導者、体協種目部などと連携し、上記の目的を達成するための事業を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	1,365 千円 (848 千円)	1,828 千円 (1,171 千円)	1,584 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取り組み状況 スポーツ推進委員の各種研修会やスポーツ教室（ラケットテニス教室）の実施、スポーツ教室の開催による指導者への謝金等支給。（水泳教室の開催） ○成果等 スポーツ推進委員の研修会や、スポーツ教室の開催に伴い、指導者としての意識の高揚が図られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	運動、スポーツ活動の普及・振興や、町民の健康増進・体力向上のため、スポーツ推進委員を更に活用し、様々な活動の場の提供を行う。また、各研修会への参加を通じ、指導者の資質向上に努めるとともに、体協種目部の活動の推進・育成と併せ、新たな指導者の発掘・育成を図りたい。		
学識経験者等意見	運動と健康の関係性が盛んに言われている中、指導者の確保は課題である。指導者育成の方策を検討して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	50		
事業名	学校体育施設の開放		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	スポーツの振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	学校体育施設を開放し、運動・スポーツ活動の場を提供するとともに、スポーツ活動等の普及・振興を図ることを目的とする。	
	事業内容	学校体育施設を、住民（スポーツ活動団体等）に開放するための施設の管理を行う。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	120千円 (120千円)	120千円 (120千円)	120千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組状況 津奈木・旧赤崎・旧平国小学校・津奈木中学校の体育館及びグラウンドの地域住民等への開放。 ○成果等 バスケット・ビーチバレー・空手等の練習が定期的に行われており、スポーツ活動等の普及・振興に繋がっている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	運動・スポーツ活動等の普及・振興のため、今後も取り組んでいくが、限られた運動施設数でもあり、特に総合グラウンドの使用については、中学校部活動（野球）・津奈木クラブ（小学生野球：社会体育クラブ）・陸上クラブ（平成30年度から、社会体育クラブへ）の使用頻度が多くなり、他の団体の使用に支障をきたしている状況であるため、今後は、津小・津中グラウンドの活用も検討していく必要がある。また、旧赤崎小・平国小体育館の利用促進を図るうえからも、定期的な維持管理等も考えていく必要がある。		
学識経験者意見等	閉校した2つの学校のうち、体育館は一定の利活用がされているようであるが、グラウンドの活用は殆ど無いようである。 旧赤崎小グラウンドは芝生公園として再開発されるようだが、本町では本格的な公園が少なく、子どもを遊ばせる場所が無いという意見もあるので、地域の人達が予約なしでいつでも楽しめる場所として活用して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	51		
事業名	体育施設運営事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	スポーツの振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	運動・スポーツ活動の普及、振興のため、体育施設の維持管理と併せ整備・補修等を行い、施設利用者が安全・安心して使用できる施設運営を図ることを目的とする。	
	事業内容	体育施設の維持管理、整備・補修等による安全・安心な施設運営並びに、施設の利用受付や使用料の徴収等の管理運営。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	6,531 千円 (4,741 千円)	4,665 千円 (4,665 千円)	53,374 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	○取組状況 施設利用者が安全・安心して使用できるよう、施設の維持管理、整備・補修等による、施設運営を実施。 ○成果等 通常の施設管理のほか、限られた予算の中で、安全・安心な施設利用の観点から必要な施設の整備・補修等を随時行っている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	現状として、教育委員会の職員だけでは施設の維持管理等に限度があり、特に赤崎・平国運動公園については、全くというほど目が行きとどいていない状況である。旧赤崎小グラウンドは、芝生公園として再開発されるので、一般公園とし、子どもや高齢者が憩いの場として活用出来る方向へ持っていきたい。		
学識経験者意見等	施設の維持管理は限られた予算と人員で対応しているようだが、旧赤崎小グラウンドは、芝生公園として再開発されると聞いている。本町には子どもや高齢者が自由に遊び、憩う公園が少ないため、本格的な公園として運用されることを期待する。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

平成29年度事業点検及び評価結果票

評価番号	52		
事業名	B&G施設運営事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	スポーツの振興		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	住民の体力向上のため、B&G施設の運営を充実させることを目的とする。	
	事業内容	B&G施設の整備及び使用料の徴収。	
予算額 (決算額)	平成28年度	平成29年度	平成30年度(当初)
	5,203 千円 (4,076 千円)	4,529 千円 (4,032 千円)	52,548 千円
一次評価 (教育委員会事務局)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取組み状況及び成果等		
	○取組状況 B&G施設の利用促進を図る。 B&G体育館・プール等の使用料徴収業務。 B&G体育館の改修。 ○成果等 B&G施設の補修等により、利用者の利便性と安全性が図られ、利用者が安心して使用できるようになった。		
	今後の取組みの方向性 29年度はB&G体育館の一部の雨漏り修繕、プールの物置設置、艇庫の侵入防止柵修繕等、必要な改修等を行い、施設の充実や安心・安全な利用促進を図った。今後は、体育館雨漏り対策として本格的な屋根補修を行っていく。		
学識経験者意見等	B&G施設は建設されて相当年数が経過しているため、修繕については時期を失しないよう適時適格な改修を行って欲しい。また、体育館の利用率は非常に高く、本町スポーツの拠点となっているため、今後も更なる活用を図って欲しい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

評価のまとめ

教育委員会では、「環境を生かして子どもから高齢者まで『生きる力』を身に付ける」を教育目標に掲げ、様々の事業を推進しています。

平成29年度の事務事業の点検及び評価につきましては、平成29年度津奈木町教育構想に基づく事務事業の項目の52事業について実施しました。

そのうち一次評価は、教育委員会事務局において、学校教育班と生涯学習班の各担当の事業を4段階で評価しました。この一次評価対象事業の中から、教育行政の推進上重要な課題に係るものや学識経験者による点検や評価を受けて、今後の事務事業の改善に一層努めることが必要と判断した項目、或いは事業の成果が十分に発揮されていると判断した項目について、学識経験者に事業内容や一次評価についての説明を行い、27項目について意見や要望等をいただきました。

この一次評価と学識経験者の意見や要望等をもって、8月の教育委員会で二次評価を行いました。この時、一次評価及び学識経験者の意見や要望等を説明し、学識経験者に意見や要望等いただいた事業については、再評価を行うとともに、事業全体について教育委員会で点検してもらいました。その結果、学識経験者の意見がないものは、教育委員会で一次評価を妥当と認めたものです。前年度までは評価を行っていた事業で実績がなかったものは、評価の対象としませんでした。昨年度は事業実施時期等の見直しが必要ではないかとしてC評価とされた事業もありましたが、本年度はC評価はありませんでした。B評価の事業については、より高い目標の実現へ向けての今後の努力は勿論のこと、不断の見直し検討と、きめ細かな対応が求められるところです。A評価の事業については、これにおごることなく、よりよい成果を上げるためにさらに工夫改善に努めたいと思います。

教育委員会の事業は、幼児・児童・生徒の幼稚園教育・学校教育と、町民全体を対象とした生涯学習に関する事業が主なものです。平成29年度の事業の点検及び評価を通して、教育委員会は、津奈木町の子どもたちにこれからの津奈木町を担うことができる「生きる力」を身に付けさせるとともに、すべての町民が、健康で、生涯を通して学びの姿勢を持ち、生き生きと豊かに過ごすことができるように、工夫改善を加えながら努力していきたいと思っています。

3 教育委員会の活動状況

(1) 概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の趣旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないことが、基本理念として規定されています。

教育委員会の会議は、毎月1回の定例会及び必要に応じて臨時会が開催され、教育行政の基本的な施策の決定と重要な案件の処理を行います。そのようなことから、毎年、各学校を訪問し学校現場の状況を確認、会議に反映しています。また、各研修への参加を通して、教育委員としての資質向上に努めています。

平成27年度から新教育委員会制度がスタートし、教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について首長と教育委員会が協議調整を行う場として総合教育会議を開催することとなりました。平成29年度は2回の会議を行っています。

今後も益々、幼・保・小・中の連携をより強くして、きめ細やかな教育環境の整備に向けて取り組んでいきます。

(2) 構成

平成29年度

職名	氏名	任期
教育長職務代理者	福田 征起	平成29年10月1日～平成32年 9月30日
委員	寺床 浩治	平成24年10月1日～平成32年 9月30日
委員	雑賀 優美	平成27年 7月1日～平成31年 6月30日
委員	林田 雄二	平成27年11月1日～平成31年10月31日
教育長	塩山 一之	平成20年10月1日～平成31年 9月30日

(3) 活動状況

平成29年度中の開催状況及び審議された議案は次のとおりです。

会議名	番 号	件 名	結果
第4回 定例会 4/21	議案第7号	津奈木町就学指導委員会規定の一部改正について	可決
	議案第8号	津奈木町スポーツ功労者表彰規程の一部改正について	可決
	議案第9号	津奈木町文化功労者表彰規程の一部改正について	可決
	議案第10号	津奈木町全国大会等出場助成金交付要綱の制定について	可決
	議案第11号	平成29年度準要保護の追加認定について	可決
第5回 定例会 5/20	議案第12号	平成29年度準要保護の追加認定について	可決
	議案第13号	平成29年度津奈木町立小・中学校の主任等の任命について	可決
	議案第14号	平成29年度津奈木幼稚園教務主任の任命について	可決
	議案第15号	学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	可決
	議案第16号	津奈木町スポーツ推進委員の委嘱について	可決
	議案第17号	津奈木町文化財保護委員の委嘱について	可決
第6回 定例会 6/21	議案第18号	平成29年度準要保護の追加認定について	可決
第2回 臨時会 8/7	議案第19号	平成30年度使用小学校教科用図書採択について	可決
第8回 定例会 8/18	議案第20号	津奈木町奨学金貸付条例の一部改正について	可決
	議案第21号	津奈木町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	可決
第10回 定例会 10/18	議案第22号	平成29年度準要保護の追加認定について	可決
	議案第23号	津奈木町学校給食食物アレルギー対応検討委員会設置要綱について	可決

会議名	番 号	件 名	結果
第11回 定例会 11/27	議案第24号	津奈木町奨学金貸付条例施行規則の一部改正について	可決
第1回 定例会 1/19	議案第1号	つなぎ文化センター条例の一部を改正する条例について	可決
第2回 定例会 2/23	議案第2号	平成30年度学校医・薬剤師の委嘱について	可決
第1回 臨時会 2/27	議案第3号	平成30年度教職員の異動内申について	可決
第3回 定例会 3/22	議案第4号	平成30年度要保護・準要保護の認定について	可決
	議案第5号	津奈木幼稚園長の任命について	可決
	議案第6号	津奈木中学校心の教室相談員の委嘱について	可決

平成29年度中の各種行事への参加状況は次のとおりです。

No.	月 日	事 業 名	場 所
1	4月 3日	町内教職員辞令交付式	つなぎ文化センター
2	4月10日	津奈木小学校入学式	津奈木小学校
3	4月11日	津奈木中学校入学式	津奈木中学校
4	4月12日	津奈木幼稚園入園・進級式	津奈木幼稚園
5	4月18日	水俣芦北教育委員会連絡協議会監査	津奈木町教育委員会事務室
6	4月21日	教職員歓迎会	四季彩
7	4月26日	水俣市葦北郡教育委員会連絡協議会	水俣市公民館
8	5月21日	津奈木中学校体育大会	津奈木中学校
9	6月24日	芦北水俣郡市中学校総合体育大会	エコパーク水俣陸上競技場
10	8月13日	町民体育祭野球大会（～14日）	津奈木町総合グラウンド
11	9月7日	津奈木小学校経営訪問	津奈木小学校
12	9月15日	管内オープン授業（水俣2中）	水俣第2中学校
13	9月24日	津奈木幼稚園運動会	津奈木幼稚園

No.	月 日	事 業 名	場 所
14	10月 1日	津奈木小学校運動会	津奈木小学校
15	10月 8日	町民体育祭陸上競技大会	津奈木町総合グラウンド
16	10月11日	津奈木中学校経営訪問	津奈木中学校
17	10月12日	郡市中学校英語暗唱大会	つなぎ文化センター
18	10月19日	芦北・水俣郡市中学校駅伝競走大会	津奈木町総合グラウンド
19	10月27日	第4回管内オープン授業	田浦中学校
20	11月14日	幼稚園経営訪問	津奈木幼稚園
21	11月16日	葦北郡中学校音楽発表会	つなぎ文化センター
22	11月19日	津奈木中学校文化祭	津奈木中学校
23	11月27日	総合教育会議	津奈木町役場
24	11月29日	津奈木小学校学習発表会	津奈木小学校
25	1月 3日	成人式	つなぎ文化センター
26	1月15日	市町村教育委員大会	熊本県庁
27	1月23日	葦北郡水俣市教育委員会連絡協議会	津奈木小学校
28	1月30日	学力向上研究発表会	津奈木小学校
29	2月23日	教育論文発表・表彰式	つなぎ文化センター
30	2月25日	幼稚園学習発表会	つなぎ文化センター
31	2月28日	総合教育会議	津奈木町役場
32	3月 4日	生涯学習フェスティバル	つなぎ文化センター
33	3月11日	津奈木中学校卒業証書授与式	津奈木中学校
34	3月20日	津奈木幼稚園卒園式	津奈木幼稚園
35	3月22日	小学校卒業証書授与式	津奈木小学校

平成29年度 津奈木町教育構想に基づく事務事業

区 分	事 業 名	単年 継 続	所 属 班
学校教育総括	学校訪問指導事業	継続	学校教育班
確かな学力の育成	学力充実事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	学力テスト事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	知能検査事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	義務教育教材備品購入事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	英語教育推進事業	継続	学校教育班
	地域未来塾	継続	生涯学習班
	英語検定補助事業	継続	学校教育班
個に応じた支援	要保護・準要保護支援事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	特別支援教育就学奨励事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	学級支援員事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
読書活動の推進	学校図書購入事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	童話発表会(再掲)	継続	学校教育班
豊かな心の育成	道徳推進事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	心の教室相談員事業(中学校)	継続	学校教育班
生徒指導の充実	心の教室相談員事業(中学校)(再掲)	継続	学校教育班
	不登校・いじめ等の指導支援	継続	学校教育班
環境教育の充実	学校版環境ISOの推進(小学校・中学校)	継続	学校教育班
健康教育の充実	就学時健康診断事業(幼稚園・各小学校)	継続	学校教育班
	学校医の指定(小学校・中学校)	継続	学校教育班
	健康管理事業(小学校・中学校)	継続	学校教育班
安全教育の充実と安全な環境づくり	学校施設整備事業(小学校・中学校・幼稚園)	単年	学校教育班
	こども見守り支援事業	継続	学校教育班
就学前教育の充実	幼・保、小、中連携事業	継続	学校教育班
開かれた学校づくり	コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の取組	継続	学校教育班
生涯学習の振興	町民講座	継続	生涯学習班
	あけぼの大学	継続	生涯学習班
	自治公民館の支援	継続	生涯学習班
	生涯学習フェスティバル	継続	生涯学習班
	文化センター改修事業	単年	生涯学習班
	文化センター運営事業	継続	生涯学習班
	文化センター自主事業	継続	生涯学習班
人権教育の推進	人権教育推進事業	継続	生涯学習班
図書の振興	図書館運営事業	継続	生涯学習班
	おはなし会(読み聞かせ)	継続	生涯学習班
	童話発表会	継続	生涯学習班
	子ども読書の日	継続	生涯学習班
家庭教育の充実	食育推進事業	継続	生涯学習班
	「親の学び」プログラム事業	継続	生涯学習班
	親子凧揚げ大会	継続	生涯学習班
関係機関・団体の連携	婦人会の育成・支援	継続	生涯学習班
	郡体育協会連携	継続	生涯学習班
	県文化協会連携	継続	生涯学習班
	町文化協会の育成・支援	継続	生涯学習班
	PTA連絡協議会の育成・支援	継続	生涯学習班
青少年の健全育成	遊びの学校・B&G海洋クラブ事業	継続	生涯学習班
	スポーツ教室事業	継続	生涯学習班
スポーツの振興	町民体育祭	継続	生涯学習班
	町体育協会の育成・支援	継続	生涯学習班
	社会体育指導者の育成	継続	生涯学習班
	学校体育施設の開放	継続	生涯学習班
	体育施設運営事業	継続	生涯学習班
	B&G施設運営事業	継続	生涯学習班
文化財の保存継承	有形文化財の保護・活用	継続	生涯学習班

